

## 国立病院機構 仙台医療センター

当院は 150 万医療圏の 3 次救急病院ですが、ドクターヘリが軌道にのるようになり、医療圏を超えて様々な症例が遠方から運ばれてくるようになりました。

当科としても昨年度は、臨床や研修医の教育、学会活動なども例年どおり、あるいは例年以上の成果を出すことができました。そんな中、スタッフとしては川崎永美子先生が産休、育休から徐々に復帰し、子育てをしながらもメリハリのある充実したライフスタイルを送っております。この間に半年ずつ勤務してくれた中村尚子先生、池之内初先生、原田龍平先生、中村貴彬先生ら東北大神経内科若手のエース級の先生方には大活躍していただき、診療面だけでなく、臨床研究や研修医教育など様々な場面で、当科を盛り上げてくれました。

この 4 月からはスタッフは 1 名減となりました。私自身も臨床研修部長になり寝ても覚めても研修医のことばかりを考えている毎日で、脳神経内科のスタッフには迷惑をかけております。このほか、当科は、院内の救急・災害医療活動、TQM 活動(QC サークル活動等)、医療安全活動などにも積極的に取り組み、臨床研究ポイントは院内 4 位、救急車搬入患者数でも院内 4 位と、スタッフ数が 10 名以上あるような診療科にも負けない実績を出し、当院にとって不可欠な存在を担っていると思います。

当院は東北大神経内科の関連病院として、とくに人材の発掘、育成が期待されていると思います。また、県内最大級の医療機関の神経内科として、最新の高度な医療を提供できるよう努めております。

来年には新病院が開院します。隣の楽天イーグルスとともに皆様の応援をお願いします。

(鈴木靖士)

外来患者数	10001 名 (計画 7264 名)
新入院患者数	591 名 (計画 425 名)
論文・総説等	5 編 (英文 3 編、和文 2 編)
学会発表数	25 題(国内 19 題、国際 6 題)
研究会・講演会	10 題



